

世界で最も情報技術を使い、便利で快適な「スマート東京」

都民のQOL※に貢献
するスマートシティ

※Quality of Life



デジタルの道「TOKYO
Data Highway」



都政のQOS※を更に高
める構造改革

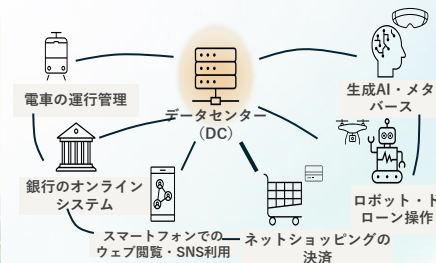
※Quality of Service



AIを徹底的に利活用
し、都民が便利で快
適なサービスを展開



デジタル社会を支える
重要インフラである
データセンター（DC）



電力需要や脱炭素、まちづくり
などとの整合を図り整備を促進

- 都民・事業者と行政とのタッチポイントとして、「東京アプリ」や「事業者向け手続等ワンストップサービス（仮称）」を段階的に開発
- 高齢者が必要な情報の入手や様々な手続等ができるよう、スマートフォン購入費助成及び利用促進を支援



質の高い通信インフラを整備し「つながる東京」を推進

- OpenRoaming対応Wi-Fiの更なる整備促進

- 高高度プラットフォーム(HAPS)の行政活用に向けた取組を推進



GovTech東京とともに
オール東京のDXを推進

- 区市町村のDX推進
 - ・ 区市町村デジタル人材の育成支援
 - ・ 区市町村が利用するシステム等の共同化に向けた取組を推進
- 都政のDX推進
 - ・ タッチポイントの集約
 - ・ セキュリティ対策の強化

都政におけるAI利活用事業

- 都民サービス向上
 - ・ 生成AIを活用した都立学校での教育の推進
 - ・ AIを活用した都営住宅への入居機会の拡大や都営地下鉄等におけるお忘れ物検索サービスの導入
- 行政運営の高度化
 - ・ 生成AIプラットフォーム「A1(えいいち)」による利活用環境の充実
 - ・ 大学等と連携した行政特化型国産AIモデルの構築・実証

- 都独自にDC事業者の情報を把握する仕組みを整備
- 環境性能等を評価する認定制度の創設やDCの高効率化に資する設備等の導入を支援
- まちと調和したデータセンターに向けたガイドラインを作成